



10月になりました。厳しい暑さもようやく和らぎ、過ごしやすい季節となりました。子ども達は、リレーやかけっこ、鬼ごっこやかくれんぼなど、園庭でのびのびと体を動かして遊んでいます。全国的には、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行もあるようです。食事や睡眠で体力をつけ、手洗いやうがいなどで予防をし、元気に今週末の運動会が迎えられるようにしましょう。

「げんき ほんき みんなでがんばろう運動会」

7日(土)は待ちに待った運動会。上記の運動会の名前は、年長児が考えました。また先週は、異年齢合同の3チームに分かれ、チームのメンバーの顔合わせとチーム名決めも行いました。「強そうな名前がいいよね」「青チームだから青いものがないんじゃない?」・・・赤・青・黄の3色のイメージや、強くて足が速くて頑張れそうなものなどを口々に出し合っていました。聞いているといろいろなもの名前が出てきて、「決まるんだろうか・・・」と思っていました。自分の思いも出しながら友達の言い分に「ああ、それいいね」と賛成したりする姿も見られ、無事に3チームの名前が決まりました。「消防車チーム」「かみなりチーム」「ざっばーんチーム」どれも子ども達の思いが詰まった素敵なチーム名です。リーダーとなる年長児を中心に、チームでの仲間意識を強めたり、応援したりする姿が見られそうです。

年長児がメインのオープニングは、自分達で持つものや動きを考えたりし、気持ちを合わせて動くので8人とは思えないくらいの見栄えです。そこに途中から年中・年少児が加わり、可愛らしい踊りで盛り上げますよ。

クラス競技もそれぞれ遊びから考えられていて、とても楽しそうです。年少児は、生き物のお面をつけたらもうそのものになり切って飛んだり走ったりします。年中児は、「カエルのジャンプは岩みたいにしたい」「チョウチョになるところはお花作ろう」と、イメージを膨らませて自分達で競技に使うものを飾り、楽しみながら走っています。年長児は、どんな競技にするのか、どんなものが必要かを話し合っており、自分達で「こんな競争をしたい」という思いをもって取り組んでいます。

今年度は、綱引きを復活させました。年長・年中児のチーム戦です。みんなで「エイエイオー」とやる気満々で力いっぱい綱を引っ張ります。しかし、どちらかのチームが勝てば、負けるチームがいます。負けたチームの年長児は悔しさで一杯で、泣き出す子もいます。本気で力を出して負けてしまったチームに、安易に「次は頑張ろう」なんて声はかけられません。一緒にその悔しさに共感し、悔しい思いをした子が再び気持ちを奮い立たせるのを見守ります。その他にも、年長児は係活動があります。運動会のリーダーとして準備をしたり、当日も大勢の人の前で言葉を言ったりします。年中・年少児は、クラスやチームで集まったり、並んで待ったり、応援したりと、集団で動く場面も多く経験します。この運動会に向かう活動を通して、いろいろな体験や気持ちを経験し、一人一人が成長していくことを願っています。



仲間チーム名を考えます。



力いっぱい引っ張る綱引き

年長児が稲刈り体験をしました

雨天でのびのびになっていた稲刈り体験を、9月29日(金)に実施することができました。年長児が歩いてピバの近くの田んぼへ行くと、すでに田んぼ・畑の先生で田んぼの持ち主の方が機械で刈っておられました。早速、長袖シャツ・長ズボン・長靴に着替え、挨拶をし、田んぼの先生から鎌を使っての稲の刈り方を教わりました。最初は恐る恐るだった子ども達も、手伝ってもらってやり方が分かると、稲を一束ギュッと持ち、根元を鎌でザクザクと刈ることができました。一人2~3束刈りましたが、「もっとやりたーい」ともう一度ずつ刈らせてもらいました。その後、機械で刈る様子を見ましたが、そのスピードや「機械が稲を食べているみたい」と機械刈りの様子に驚いていました。実際に自分で刈った稲を持って「これが給食のご飯になるんだよね」とつぶやいた子がいました。田植え見学から稲刈り体験を通して、自分達が普段食べているご飯がどのようにして作られるのかを知ったり、たくさんの人のお世話によることへの感謝の気持ちをもったりする機会となりました。

